



ITU-R SG5関係会合（WP5B）の結果概要について

総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課

1. はじめに

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）SG5（地上業務研究委員会）関連会合（WP5B）が2022年3月29日（火）から4月8日（金）にかけて、電子会議（e-Meeting）で開催されたので、その概要を報告する。

SG5は、陸上・航空・海上の各移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌しており、4つのWorking Party（WP）から構成される。

WP5Bは、無線測位業務、航空移動業務及び海上移動業務に関する技術的検討を実施している。

なお、本会合はWRC-23会合に向けて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により生じた議論の遅れを取り戻すために開催されたものであるため、WGを設立せず、WRC-23議題ごとに議論が行われたものである。

以下では、本会合の主要議題と主な結果について報告する。

2. WP5B第28回会合

(1) WP5B会合の概要

2022年3月29日（火）から4月8日（金）に開催された第28回会合には、47か国から362名が参加し、日本からは11名が参加した。日本寄書3件を含む48件の入力文書について検討が行われ、21件の文書（うち、持ち越し文書4件）が出力された。

(2) 主要議題及び主な結果

① WRC-23議題1.8の検討

WRC-23に向けて議題1.8（無人航空システムの制御及び非ペイロード通信による固定衛星業務の利用のための決議155（WRC-15改）及びRR5.484Bの見直しと適切な規制条項の検討）について改訂決議案、無人航空機の制御用通信の特性及び共用検討に関する報告/勧告、ガイドラインの検討が進められている。UAS（Unmanned Aircraft Systems:

■表1. SG5の構成（敬称略）

組織名	所掌	議長
SG5	地上業務	Martin Fenton（英国）
WP5A	陸上移動業務（IMTを除く）アマチュア業務、アマチュア衛星業務	Jose Costa（カナダ）
WP5B	無線測位業務、航空移動業務、海上移動業務	John Mettrop（英国）
WP5C	固定業務	Pietro Nava（Huawei）
WP5D	IMT	Stephen Blust（AT&T）

■表2. WP5Bの審議体制

	担務内容	議長
WP5B	無線測位業務、海上移動業務及び航空移動業務	Mr. J. Mettrop（英国）
WG5B-1	無線標定関係（各種レーダー等）	Mr. M. Weber（ドイツ）
WG5B-2	航空関係（WRC-23議題1.1、1.6、1.7等）	Mr. J. Andre（フランス）
WG5B-3	海上関係（WRC-23議題1.11等）	Mr. C Rissone（フランス）
WG5B-4	他の課題	Mr. J. Cramer（米国）
WG5B-5	議題1.8関連	Mr. P HOVSTAD（香港）

無人航空システム)の運用には、航空管制通信を中継リモートパイロットが飛行を制御するために、信頼性の高いCNPC (Control and Non-Payload Communication: 非ペイロード通信) リンクが必要であり、特に目視外の飛行を行うにあたり衛星ネットワークの利用が期待されている。

今回例会では、主にCPMテキスト草案の作成に焦点を絞り検討された。特に、§3 (Summary and analysis of the results of ITU-R studies) を中心に、①UAS CNPCの運用に関わる前提 (CPM文書ではkey principleと記載)、②地上業務や無線航行業務、電波天文業務とUAS CNPC間との共用の考え方などについて、議論がなされた。次回7月例会では、完全に合意できなかった§3だけでなく、今回議論できなかった§4や§5に対応する決議155の改訂方針についても議論される予定である。現在、決議155の改訂案として5つの方針 (すべて方向性が異なる) が提案されており、合意までにはまだ時間を要することが想定される。

② WRC-23議題1.11の検討

IMO (国際海事機関) において検討されているGMDSS (世界海洋遭難安全システム) 近代化において、MF/HF帯無線通信は継続使用されることとなっている。また、MSI (Maritime Safety Information: 海上安全情報) として、従来のナブテックスによる放送に加え、ナブテックスを高度化したMF/HF帯のNAVDAT (デジタル航海データシステム) による放送を新たに導入することを決めている。

我が国より、WRC-23議題1.11 CPMテキスト案へ向けた作業文書において、RR第33条に国際NAVDAT周波数としてMF帯に加えてHF帯を追記すること及びRR第52条にNAVDAT周波数使用規則を追記することの提案を行った。議論の結果、その追記を行った作業文書を議長報告に添付し、次回例会にて審議を継続することとなった。

③ WRC-23議題1.13の検討

議題1.13は、責任グループであるWP7Bが、SRS (宇宙研究業務) と各種業務との共用検討に関する新勧告草案ITU-R SA.[15GHz SRS SHARING] の作成を進めている。我が国は、同周波数帯をヘリコプター映像伝送 (ヘリテレ) 等に利用しているため、2021年9月のWP7B例会において、共用検討に資するためのヘリテレのパラメータに関する文書を入力し、同文書を受けて、WP7Bは、WP5Bに対し、パラメータの妥当性の検討を依頼するリエゾン文書を発出した。WP5Bは、当該リエゾンを受け、2021年12月例会で対応策について議論したが、結論が出なかったため、今回例会へ持ち越しとなっていた。

今回例会においては、我が国から、共用研究において我が国で使用されているヘリテレシステムを考慮するよう追記する旨の返信リエゾン文書案を入力した。意見のあった米国、フランス及びロシアとのオフラインディスカッションを行い、記載ぶりの調整を経て、日本提案に基づくリエゾン文書が発出されることとなった。今後はWP7Bにおいて、SRSからヘリテレへの干渉検討を行うこととなる。

3. 今後の予定

次回例会は以下のとおり開催される予定。

WP5B例会: 2022年7月11日 (月)~22日 (金) (ジュネーブ及びオンラインでのハイブリット形式で開催の予定)

4. おわりに

今回の例会において、日本からも積極的に議論に貢献できたことは、長時間・長期間にわたる議論に参加された日本代表団各位、会合前の寄書作成や検討に貢献された関係各位のご尽力のたまものであり、この場を借りて深く御礼申し上げます。

また、我が国が一層貢献・活躍できるよう、今後の検討に向けて関係各位の更なるご協力をお願い申し上げます。